	t第3号 					事務事		\ - - \								
2	事業コード	2194		ä	課コード	0505		会計種別	一般会計			予算の	種類 ■	政策 ■経常	□なし	
1.	事業の概要(PLAN)															
		①事業名		あらき園運営				実施計画への)有 〇無	(2	部課名	健康福祉部・あらき園			
		③事業主体	個別事業 あらき園の維持管理 ●市 ○その他()													
		⑤事業期間	●市 Oその他 (平成28年度 ~						④対象地区 ⑥担当職員数	口投除了	□ □ 我孫子 □ □ 天王台 □ 湖北 4 人		□新木 □布佐 ■全市 (換算人数 0.38 人)			
(1)事業概要		⑦事業費	総事業費 0 千円						当該(開始)年	(当 初)	(当 初) 77,184 千円			(うち人件費 3,382 千円)		
		(人件費含む)	心尹木貝				<u> </u>		当政(開始) 牛/	(変更後)	(変更後)		(うち人件費	千円)		
		⑧施策の位置づけ	施策コード		33303	重点プロジェクト への位置づけ	重点	なし	基本計画地区は計画への位置で		O有 ●無	i	部門別計画への 位置づけ	(計画名)		
(0)	7.45	施策目的・				- -人ひとりのニーズにあった施設・					事業所として、利用	 者が地域にお	おいて安定した生活	 舌を営むため、施設・設	備の保守及び維持	
(2)	目的	展開方向	、福祉の各	機関との連携	携を強化します。	て、市内の障害者施設への技術			事業目的	管理をする。						
(3)事業内容		内 容	令和4年度:食堂空調設備等更新工事、食堂棟屋根及び外壁等改修工事に伴う設計、本館空調設備等 事に伴う設計、本館及び食堂棟老朽化設備等更新工事に伴う設計(給排水、防災、電気、ガス)、ス レ等改修工事に伴う設計							年間を通じて、施設機能が維持できるよう定期的に維持管理し、法的等定期点検を実施し、危険では速やかに改修修繕及び工事を行う。(公共施設等適正管理推進事業債:充当率90%)令和3年度 あらき園本館屋根及び外壁等改修工事に伴う監理業務委託 あらき園全館屋根及び外壁等改修工事に伴う監理業務委託 あらき園食堂棟空調設備等更新工事に伴う設計業務委託 施設の維持管理率 単位 % 担定値 実績値					P値 100	
(4)	達成目標(期待する成果)								指標種類	•	指標			単位 (5) 現況値		
	当該年度	施設の機能を維持し施設環境を適切に保つ							直接	妆						
	 令和 4年度	施設の機能を維持し施設環境を適切に保つ								直接 施設の維持管理率(修繕・工事実施箇所/必要修繕・工事個所) %						
	 令和 5年度	施設の機能を維持し施設環境を適切に保つ								施設の維持管	施設の維持管理率(修繕・工事実施箇所/必要修繕・工事個所) %				100	
	174 - 172								直接							
(7) 1	事業実施上の課題と対応								代替案検討	(○有 ●無					
			令和 2年	F度			令和 3年度			令	和 4年度			令和 5年度		
		政策	内 容		金額(千円)	政 内容	予算	額(千円) 決算額	頂(千円) 政策	内	容	金額(千円)	政策	内 容	金額(千円)	
		消耗品費 光熱水費			103 4, 963	施設用消耗品費		150 4, 609		用消耗品費 水費		150 4, 609		品費	150 4, 609	
		施設修繕料			150 48	施設修繕料		290 35	施設	修繕料		290 35	施設修繕料		290 35	
		通信運搬費			4, 136	通信運搬費		4, 730	清掃	運搬費 委託料		4, 730	清掃委託料		4, 730	
		草刈委託料 樹木管理委託*			47 31	草刈委託料 樹木管理委託料		84 51	樹木	委託料 管理委託料		84 51	樹木管理委託		84 51	
/n\ .	実施内容	厨房清掃委託料	屋根及び外壁改修工事に 委託(起債対象) 自動ドア(予備費充用)		227 3, 817	厨房清掃委託料 * あらき園本館屋根及び外壁改	(修工事	227 59, 554	厨房	清掃委託料 空調設備等更新工	事(起債対象)	227 20, 757	厨房清掃委詞			
(8)	施行事項 費 用	伴う設計業務委			205	(起債対象) * あらき園本館屋根及び外壁等		2, 433	* 食堂		調設備等更新工事に伴う監理業 (起債対象) 屋根及び外壁等改修工事に伴う		対象)	るび外壁等改修工事に伴		
		* 施設修繕料・網			106	に伴う監理業務委託(起債対	(象)	1, 639	* 食堂	:棟屋根及び外壁等			監理業務委託	モ (起債対象)		
						* あらき園食堂空調設備等更新 う設計業務委託(起債対象)	土尹に作	1, 009	* 本館	業務委託(起債対 空調設備等更新エ 試 (おほせき)		2, 960	* 本館空調設(⋕等更新工事(起債対象 ⋕等更新工事に伴う監理 ♣☆魚〉		
									* 本館	:託(起債対象) トイレ等改修工事	に伴う設計業務	530	務委託(起信) * 本館トイレ	責対象) 等改修工事(起債対象)	5, 300	
									委託	(起債対象) なび食堂棟老朽化		4. 140	* 本館トイレ等 委託(起債)	等改修工事に伴う監理業 対象)	務 530	
									に伴	う設計業務委託・ガス)(起債対	(給排水・防災・	.,	*:老朽化設備等	・ 等更新工事(起債対象) 更新工事監理(起債対象	41, 400 4, 140	
	予算(決算)額 国庫支出金	補助率	計	0 %	13, 833		0 %	73, 802	補助	合 計		44, 386	5	<u>合計</u> 0%	136, 181	
	県支出金	補助率		0 %	0	補助率	0 %	0	補助		0 %	0	補助率	0 %	0	
(9)	財源内訳 起債 一般財源	充当率		90 %	3, 400 10, 433	, ,	90 %	57, 200 10, 602	充当		80 %	27, 300 17, 086	3	80 %	100, 800 35, 381	
	その他の財源 換算人数(人)	□特会 □受	益 □基金 □・	その他	0.38	□特会 □受益 ■基金 □-	その他	6, 000 0. 38		特会 □受益 □基	金 口その他	0. 38		受益 口基金 口その他	0. 38	
(10)	人件費等 正職員人件費 嘱託職員報酬額				3, 306			3, 382				3, 382	!		3, 382	
車拳:	臨時職員賃金額費(予算(決算)額+正職員人件費)	0 17. 139					0 77. 184					47, 768			139, 563	
	単位費用		171. 39 ∓ F	9/%	17, 139	771.84千円		77, 104				47, 700			109, 000	
2	(事業費/活動結果指標) 事業の評価(DO+CHECK	0														
	評価項目	<u> </u>			東前					車 悠 新	。 (本) (証) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本	た l* か 美安 t	소타 (#t本+소+)	1	改善検討	
		あらき園は市の障	害者の地域生	活の拠点や			設であり、安全で作	快適に日中 O	事 後 評 価 (評価結果に応じ、改善案検討 (拡充も含む)) 〇①事前確認での想定どおり						以音换的	
	(1)事業が今必要である理由・	あらき園は市の障害者の地域生活の拠点やセーフティーネットとしての役割が期待される施設であり、安全で快適に日中活動できる環境を維持していく必要がある。							○②事前確認での想定どおりでなかった							
	背景は?(事業の必要性)								<想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因>							
-		○①早間企業 №		Tは空でけ宝	『体できたい	<その他の内容>			①足悶企業 N.D	O 市民団体第7	け宝体できたかった	- /古宝饰/	の具体的な内容・』	※亜性の理由へ		
必		○①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない (理由) 口法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない							①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった ②市が主導で進めなければ実効性がなかった ③市が先導役となったことで市民へ普及が一層			2 (1) 2/16				
要		口その他		•		C C C C C C C C C C			促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他							
性	(2) 市が実施する必要性は あるか?	●②自治体である													〇要	
	(市実施の必要性)	(理由) □市が主 ■市が実			効性が得られる 、良質で安定した								〇不要			
			スが保証され 援することに		施策の目標の					その他の内容>						
		□市が支援することにより政策・施策の目標の 実現が図られる □その他														
			参加・協働	の内容		工夫の具体	的な内容			協働の具体的な内 考えられる場合に			参加・協働	かの程度・内容		
糸		〇①事業計画時に							ジル・1別側か	ったりれる場合に	15 (ツ門台)		〇①当初期待した以上 〇②当初期待したとおり			
加・	市民の参加や市民との協働を	〇②事業実施時に 〇③管理・運営に	市民の参画有	り										○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下		
協働	工夫しているか? (体制づくり)	○④市民の自主的 ○⑤市民と共同で		ましている								<期待し#	た以上となった理[由/期待以下であった原	○要 因>	
働の工夫		●⑥その他														
^								_				1				
		くその他の内容> 該当なし														
				祖占		Tin 幺只士·	内容		#	施した具体的な中	容		二 二	への配慮		
		該当なし □①自然環境を生	配慮の Eかしている	視点		取組む	内容		実	施した具体的な内	容	〇①想定	どおり	への配慮		
環境	128倍(- 五1歳) ・アホルナル・・	該当なし	配慮の Eかしている Fしている	視点		取組む	内容		実	施した具体的な内	容					
環境への	環境に配慮して事業を進めて いるか?	該当なし □①自然環境を生 □②生き物と共存	配慮の Eかしている Fしている 哉している			取組む	内容		実	施した具体的な内	容	〇②想定	どおり		〇要	
環境への配慮		該当なし □①自然環境を生 □②生き物と共 □③手賀沼を意 □④環境負荷低源 ■⑤その他	配慮のを を を を を を を している 成している 成している			取組む	内容		実	施した具体的な内	容	〇②想定	!どおり !どおりでなかった			
環境への配慮		該当なし □①自然環境を生命を表現である。 □②生き物と共存。 □③手賀沼を意識。 □④環境負荷低源。	配慮のを を を を を を を している 成している 成している			取組む	内容		実	施した具体的な内	容	〇②想定	!どおり !どおりでなかった			
環境への配慮		該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼を意誌 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容>	配慮のを を を を を を を している 成している 成している	(%)		目標値の妥当性のチェッ			実	式况	○①目標値達成	○②想定 <想定どa	!どおり !どおりでなかった			
環境への配慮	いるか?	該当なし □①自然環境を生 □②生き物と共 □③等環况を意 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし	配慮のを	(%)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している		3		状況 達成率 (%)	○①目標値達成 - ○②目標値未達	○②想定 <想定ども	どおり どおりでなかった おりでなかった原じ		〇不要	
環境への配慮		該当なし □①自然環境を生 □②生き物と共 □③等環况を意 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし	配慮のを	(%)	②現況値と比べ ③現況値との差が	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない	ל		達成七	式况	○①目標値達成	○②想定 <想定ども	どおり どおりでなかった おりでなかった原じ			
環境への配慮	いるか?	該当なし □①自然環境を与 □②生き物と共 □③手賀沼を意 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%)	配慮の: こかしている けいの はしている 成している 成に 貢献してい 目標値(b)	(%)	②現況値と比べ ③現況値との差が	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある	ל		達成2	達成率 (%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達─<目標を達成した	○②想定 <想定どa <想定とa 成 理由/未達成	どおり どおりでなかった おりでなかった原に なとなった原因>	五>	○ 不要○ の要	
環境への配慮	いるか?	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低源 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%)	配慮の そしている ましている 成している 成に貢献してい	(%)	②現況値と比べ ③現況値との差が ④適当な比較対	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 家が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策	ל	重の差)と	達成社 建績値 (f) (%) 実施も	達成率 (%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達────○①想定事業費○②概ね想定事	○②想定 <想定ど <想定と 成 理由/未達成 未満 業費以内	どおり どおりでなかった おりでなかった原に なとなった原因>	因>	○ 不要○ の要	
への配慮	いるか? (1)目標設定は適切か?	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%6) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円)	配慮の: を	(%) ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □	②現況値と比べ ③現況値との差が (③現況値との差が (④適当な比較対象 同等の水準である。	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 変活用 □⑤ P F	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活 者負担	重の差)と	達成2	達成率 (%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達─ <目標を達成した○①想定事業費:	○②想定 <想定ど <想定と 成 理由/未達成 未満 業費以内	どおりでなかった原に はとなった原因> 事業費 〇①事前の想気	因>	○ 不要○ の要	
への配慮 効率	いるか?	該当なし □①自然環境を与 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容>該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184	配慮の: Eかしている 好している 成している 成している 成に貢献してい 目標値(b) 100 本事業費削減 「千円 △60,0	(%) (%) の の の の の の の の の の	②現況値と比べ。 ③現況値と比べ。 ③現況値との差がの場合の大学で 「国・県助成制」 「②現存体理表のは ③選携を表示。 ④後間である。	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 変活用 □⑤ P F	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活 者負担	間の差)と	達成社 接種(f)(%) 実施社 養値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達────○①想定事業費○②概ね想定事	○②想定 <想定ど <想定と 成 理由/未達成 未満 業費以内	だおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業者 ○①事前の想定 ○②事前の想定	因> 型の削減対策について ほどおり	О т	
への配慮 効率	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして	該当なし □①自然環境を与 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容>該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184	配慮の: を	(%) (%) (%) (数) (45 (公) (公)	②現況値と比べ。 ③現況値と比較対 同等の水準で 「①国・県助成制 「②現存管理費の「 (③経済要託 「)域の内容> は、一般に関する。 (・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないが小さい値ではない象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ 戸 日 回 ○	ク る目標値(と現況値 I 等民間資本の活。 者負担 他	用 実	達成社 建績値 (f) (%) 実施も	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達────○①想定事業費○②概ね想定事	○②想定 <想定ど <想定と 成 理由/未達成 未満 業費以内	だおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業者 ○①事前の想定 ○②事前の想定	因> 愛の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった	O 不要 O 要 O不要	
への配慮 効率	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手質消食施派 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184 事業費肖	配慮の: Eかしている 好している 成している 成している 成に貢献してい 目標値(b) 100 本事業費削減 「千円 △60,0	(%) 成 数 数 (3) 145 一 公 45 で が 近 の の の の の の の の の の	②現況値と比べ。 ③現況値と比べ。 ③現況値との差対 同等の水準で ①国・県助成制 「②現存管理費の「 (③展情委託 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいまい値ではない。 がかする場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 変活用 □⑤ PF 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦ その	ク る目標値(と現況値 I 等民間資本の活。 者負担 他	用 実	達成社 接種(f)(%) 実施社 養値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達────○①想定事業費○②概ね想定事	○②想定 <想定ど <想定と 成 理由/未達成 未満 業費以内	だおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業者 ○①事前の想定 ○②事前の想定	因> 愛の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった	О т	
への配慮 効率	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をして	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%6) 100 対策実施によ 事業費(c)(干円) 77,184 事業費肖	配慮の: Eかしている Fしている 成している 成している 成に貢献してい 目標値(b) 100 本事業費削減 事業費削減 (千円 △60,0	(%) (%) (%) (数) (数) (45 (力) () () () () () () () (②現況値と比べ。 ③現況値と比べ。 ③現況値と比較対 同等の水準で ③国・県助成制 ②現有管委容の (④展間 内容が (④展間 内容が ・ 原動成制 ・ 原動な制 ・ 原動な関 ・ 原動な関 ・ 原動な制 ・ 原動な関 ・ 原域を関 ・ 原動な関 ・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいまい値ではない。 がかする場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 変活用 □⑤ PF 対応 □⑥ 受益 削減策の実施 □⑦ その	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活 者負担 他 、主に使用してし はエ事費の削減を図	用 実	達成社 接種(f)(%) 実施社 養値(g)(千円)	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成○②目標値未達────○①想定事業費○②概ね想定事	○②想定 <想定とさる マ想力・大達成 未満以内 超過	どおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業力 〇①事前の想力 <想定どおり削り	因> 愛の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要	
への配慮 効率	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%6) 100 対策実施によ 事業費(c)(干円) 77,184 事業費肖	配慮の テレている 成している 成している 成に貢献してい 目標値(b) 100 本事業費削減 (千円 △60,0 利減率(%)	(%) (%) (%) (数) (3) (3)	②現況値と比べ。 ③現況値と比較差対 同等の水準で ・ 県助成制 に (②現 特 管 表 で の の 等 の 条 で の ま で か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがか小さい値ではない。象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P 左対応 □⑥ 受 を活用 対応 □⑥ で その 記推進事業債 (長寿命化) を活用 に修を集中することにより、高額がる。 計算方: ●①単年度の指標:目標値×費用	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活. 者負担 他 、主に使用してしま よ 単位/事業費	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 実施社 接値(g)(千円)	送況 達成率(%6) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費。 ○②概ね想定 ○③想定事業費。	○②想定 <想定とさる <想定とさる <想定とさる <想度とさる <想度とさる <想度とさる <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の	どおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業力 〇①事前の想力 <想定どおり削り	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要	
への配慮 効率	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか?	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼を意識 □④環境負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%6) 100 対策実施によ 事業費(c)(干円) 77,184 事業費肖	配慮の テレている 成している 成している 成に貢献してい 目標値(b) 100 本事業費削減 千円 △60,0 別減率(%) 50.34	(%) 成 数 数 数 (3) 45 (3) (45 (45 (7)	②現況値と比べ。 ③現況値と比較差対 同等の水準で ・ 県助成制 に (②現 特 管 表 で の の 等 の 条 で の ま で か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま か ま	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している 実現性が乏しい値ではない が小さい値ではない 象が有る場合、比較対象例におけ ある 実施予定の対策 変活用 □⑤PF 対応 □⑥受益 判滅策の実施 □⑦その ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活. 者負担 他 、主に使用してしま よ 単位/事業費	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 接値(f)(%) 実施社 接値(g)(千円) 超過理由等>	達成率(%) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②概ね想定事業費	○②想定 <想定とさる <想定とさる <想定とさる <想度とさる <想度とさる <想度とさる <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の	どおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業力 〇①事前の想力 <想定どおり削り	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○	
への配慮 効率性	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手賀沼倉荷低源 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%6) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184 事業費首	配慮の テレている 成している 成している 成に貢献してい 目標値(b) 100 本事業費削減 千円 △60,0 別減率(%) 50.34	(%) (%)	②現況値と比べ。 ③現況値と比べ。 ③現況値ととの差対 「一等の水準でで 「一等の水準でで 「一等の水準でで 」(一等の水準でで 「一等の水準でで 「一等の水準で 「一等の水で 「一等の水準で 「一等の水準で 「一等ので 「一等の水準で 「一等の水準で 「一等ので 「一等ので 「一等ので 「一等ので 「一等ので 「一等	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがか小さい値ではない。象が有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 度活用 □⑤ P 左対応 □⑥ 受 を活用 対応 □⑥ で その 記推進事業債 (長寿命化) を活用 に修を集中することにより、高額がる。 計算方: ●①単年度の指標:目標値×費用	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活. 者負担 他 、主に使用してしま よ 単位/事業費	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 接値(f)(%) 実施社 接値(g)(千円) 超過理由等>	送況 達成率(%6) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費。 ○②概ね想定 ○③想定事業費。	○②想定 <想定とさる <想定とさる <想定とさる <想度とさる <想度とさる <想度とさる <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の <表達の	どおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業力 〇①事前の想力 <想定どおり削り	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要	
今の配慮 効率性	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 事後評価	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手質消負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184 事業費育	配慮の:	(%) 成 数額(d) 回 45 一 一 一 一 一 の 手 数 の 手 数 の 手 数 の 手 の 手 の 手 の 手 の 手 の 手 の の 手 の の の の の の の の の の	②現況流値と比べ ③現況流値との数対 「国・県助成の所 「国・県助成制」 (②現合を変数 「国・県助成制」 (②現合を変数 (②現合を変数 ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の内容の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・展別の ・のの ・のの ・のの ・のの ・のの ・のの ・のの ・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。 をが有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 を活用 対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活 者負担 心、主に使用してし な工事費の削減を図 去 単位/事業費 見況値)×費用単位	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 接値(f)(%) 実施社 接値(g)(千円) 超過理由等>	送況 達成率(%6) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費。 ○②概ね想定 ○③想定事業費。	○②想定 <想定とる <想定とる <想定とる <想定とる <想度とる < 表業超	どおりでなかった原に おりでなかった原に 成となった原因> 事業力 〇①事前の想力 <想定どおり削り	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要	
への配慮 効率性	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用)	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手質消負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184 事業費育	配慮の:	(%) (%)	②現況流値と比べ ③現況流値との数対 「国等の水準でで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。 をが有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 を活用 対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活. 者負担 他 、主に使用してしま よ 単位/事業費	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 接値(f)(%) 実施社 接値(g)(千円) 超過理由等>	送況 達成率(%6) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②想た事業費 ○③想定事業費 ○③目標値以上同 ○③目標値以下	○②想定 <想定とる <想定とる <想定とる <想定とる <想度とる < 表業超	どおりでなかった原に	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要	
への配慮 効率性	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 事後評価	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手質消負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184 事業費育	配慮の:	(%)	②現況流値と比べ ③現況流値との数対 「国等の水準でで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。 をが有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 を活用 対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活 者負担 心、主に使用してし な工事費の削減を図 去 単位/事業費 見況値)×費用単位	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 接値(f)(%) 実施社 接値(g)(千円) 超過理由等>	送況 達成率(%6) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②想た事業費 ○③想定事業費 ○③目標値以上同 ○③目標値以下	○②想定とは ○②想定とは ○②想定とは ○②想定とは 本業超過 本業超過 <目標	どおりでなかった原に	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要	
への配慮 効率性 3.	いるか? (1)目標設定は適切か? (2)事業費削減の工夫をしているか? (3)目標値を実現する為に投じる事業費は適正か?(目標対費用) 事後評価	該当なし □①自然環境を共 □②生き物と共 □③手質消負荷低減 ■⑤その他 <その他の内容> 該当なし 現況値(a)(%) 100 対策実施によ 事業費(c)(千円) 77,184 事業費育	配慮の:	(%)	②現況流値と比べ ③現況流値との数対 「国等の水準でで ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	目標値の妥当性のチェッタ・事実に基づき設定している実現性が乏しい値ではないがいさい値ではない。 をが有る場合、比較対象例におけある 実施予定の対策 を活用 対応 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	ク る目標値(と現況値 I等民間資本の活 者負担 心、主に使用してし な工事費の削減を図 去 単位/事業費 見況値)×費用単位	重の差)と 用 実 べる本館及 引り、施設	達成社 接値(f)(%) 実施社 接値(g)(千円) 超過理由等>	送況 達成率(%6) (f/b×100)	○①目標値達成 ○②目標値未達 <目標を達成した ○①想定事業費 ○②想た事業費 ○③想定事業費 ○③目標値以上同 ○③目標値以下	○②想定とは ○②想定とは ○②想定とは ○②想定とは 本業超過 本業超過 <目標	どおりでなかった原に	因> ②の削減対策について ごどおり ごどおりでなかった 或できなかった原因>	○ 不要 ○ ○ 要 ○ ○ 不要 ○ ○ 不要	